

## 調査・研修報告書（会派個人用）

会派名：地域政党きずな庄原議員団

報告者： 國利 知史

実施場所：三次市生涯学習センター	実施日：令和3年10月20日
<b>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</b> 新人議員として知識や経験も無い中で、今後の議員活動を行う上で参考になればと思い研修に参加した。	
<b>■参考とすべき事項</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・地方議会の役割や機能、議員としての役割など。</li><li>・二元代表制の中で議員としての心構え、また議会の役割を十分に発揮するためにはどうすれば良いか。</li><li>・通年議会のメリット・デメリットを踏まえて、議会として市民にとって何が最善であるか検討する必要がある。</li></ul>	
<b>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</b> 通年議会は委員会などの審議時間が十分確保できたり、また緊急事態発生時の迅速な対応が可能になる他、参考人・公聴会制度の活用が増えるなど、議会活動が活発化するというメリットもある。 またその一方で職員の仕事の増大や運営コストの増加などのデメリットも発生してくる。住民の生活福祉の向上にとってより良い議会にしていくために検討の余地があると感じた。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。